特定非営利活動法人山村塾

2022
年次報告書
Annual Report

こめづくり もりづくり ひとづくり
山村塾

1 活動コース（稲作コース・山林コース）と里山ミニワーク

農家と一緒に農作業や山仕事に汗を流したり、山村での交流や体験を楽しみながら、棚田や森林を守る活動を行っています。

2022年度は感染症対策に注意をしながらも、イベント時の定員枠を増やすことができ、コロナ禍で中止や簡素化していた「種まき」や「田植え」などもお昼ご飯を交えて終日の活動を行うことができました。新しい取り組みとして、稲作コースに「石垣の草取り」等が加わり、棚田の手入れを楽しむ機会が増えました。

コロナ禍で伸び悩んでいた新規入会は昨年度3件から12件と大幅に増えました。

3月の山林コース「植林」では、（社団法人）国土緑化推進機構の「緑の募金」を活用し、地元の皆さんと一緒に、えがおの森の斜め向かいに355本の広葉樹を植林しました。

【活動コース行事（稲作・山林・全体行事）】

活動場所：四季菜館、稲作コースの棚田、えがおの森、ケヤキ林、炭窯、上鹿子尾地区内の森林等
回数　　：25回（25日間）
参加者　：**延べ607名**（2021年度481名）
スタッフ：延べ176名

【里山ミニワーク】

活動場所：四季菜館、炭窯
回数　　：6回（8日間）
参加者　：延べ80名（2021年度50名）
スタッフ：延べ33名

活動コース会員数

活動コース	2020	2021	2022
稲作山林	6	6（0）	7（0）
稲作	24	23（0）	23（2）
稲作30kg	10	13（3）	18（7）
山林	13	11（0）	13（2）
古里	11	9（0）	7（1）
計	**64**	**62（3）**	**68（12）**

※（ ）内は新規会員数

山村塾2年目になります。小1の娘は、春に食べる山菜の天ぷら、田植えや鴨のお世話、皆さんとのお喋りや川遊びがとても好きになりました。3歳の息子は土に触れる事、虫や果物取り、川遊び、時々お手伝いを進んで楽しんでいます。子供たちは沢山の経験やお手伝いを通して自信を持てるようになりました。皆さんが子ども達を見守ってくれるので、安心して参加しています。

私の家は農家で大変さも知っていますが、畑で遊んだりご飯を食べた楽しかった思い出が残っています。子ども達が大人になった時、心に残る思い出になるといいなと思います。

まだ子どもが小さいので作業に集中というわけにはいきませんが、みんなで作業をして、美味しいお昼ご飯を頂き心地よい疲れの中で家に帰る１日がとても大好きです。

山村塾で食べ物の大切さ、命の大切さを体験させて頂いているので子ども達と日々の生活の中でも考えるきっかけにもなっています。1年ごとに子どもの成長をすごく感じます。次はどんな1年になるのか楽しみです。

稲作コース会員　大淵しのぶさん

2022年度からの新行事、稲作コース「棚田の石垣草取り」（3月）

2 研修事業

福岡県森林づくり活動安全講習会

主催：福岡県

福岡県内の森林ボランティアを対象とした県主催の安全講習会の企画・運営を担当しています。

開催場所：八女市、久留米市、福岡市、北九州市、飯塚市
受講者数：延べ145名
実施日程・回数：5月～1月　全11回（延べ13日間）

安全講習会 モウソウチク林での「竹林整備@北九州市合馬」講習（12月）

自伐林家育成研修　作業道研修

令和４年度自伐林家育成研修

主催：福岡県

2022年度は、昨年度の修了生を対象としたフォローアップを含めて全15回の研修を実施しました。自伐林家育成研修は第5期を迎え、これまでに46名の方が修了しました。修了生の中には講師や講師補佐として研修をサポートしてくださる方も増え、人材の層が厚くなってきていることを感じます。

開催場所：八女市、久留米市
受講者数：5期生10名、修了者6名
実施日程・回数：8月～3月 全13回、修了者向けフォロー研修2回

チェーンソー基礎講座

主催：山村塾

開催場所：えがおの森
受講者数：延べ12名
回数　　：4回

里山生活の知識や技術を身につけることができる場を整えることを目指して、2022年度より、山村塾主催の初心者向けチェーンソー講習会を企画・開催しました。基礎編とレベルアップ編の2回講座を2回（計4回）実施し、チェーンソーを安全に正しく使う基礎的なトレーニングと、目立てや日常の手入れについて研修しました。

チェーンソー基礎講座（5月）

研修受入事業

企業２社からの依頼を受けて「刃物取扱い講習会」、「手工具の取り扱い研修会」を実施しました。昔ながらの農作業や山仕事を行う人が少なくなった今、手道具を中心とするボランティア活動は貴重な存在になるかもしれません。

研修・体験受入実績

・株式会社NTT フィールドテクノ 刃物取り扱い講習会（18名）
・株式会社POWER ハイテック 手工具の取扱い研修会（5名）
・モエ・ヘネシー ディアジオ株式会社 森づくり活動（7名）
・KDDI 株式会社九州総支社 パッチワークの森づくり（11名）
・九州大学芸術工学部 創造農村デザイン演習 現地実習（13名）
・九州大学芸術工学部 緑地環境実習（11名）
・NPO 法人こもれびの家 子ども野外活動 （3回 延べ46名）
他、視察受入3件、講師派遣9件

3 里山での福祉～「社会福祉法人たからばこ」との森林整備

参加人数：延べ123人
実施回数：15回
活動内容：薪集め、椎茸の菌打ち

これまではスギ・ヒノキ林で間伐材や焚き付けを集めることが多かったのですが、2022年度からは、グリーンピア八女の広葉樹の森に活動の場を移しました。ため池沿いに整備された遊歩道を歩きながら林内に入り、伐採された後の広葉樹を薪として運びだすといった活動が中心です。

たからばこから新しいなかま（利用者さん）も加わりました。最初は作業の流れが分からずに戸惑う人もいましたが、だんだんと作業に慣れて、後半は休憩を忘れて作業する人も出てきました。普段はいねむりしない人が、帰りの車内でぐっすり寝ちゃうこともあったそうです。NICEのボランティアメンバーや山村塾会員さんのサポートがあることで、楽しく森の中で活動できるようなってきました。
※たからばこ施設には薪ボイラーが設置され、給湯や暖房の熱源に利用しています。

4 合宿・日帰りボランティア

2008年からNPO法人日本国際ワークキャンプセンター（NICE）と連携して国際ボランティア受け入れを行ってきましたが、コロナ禍の影響を受けて2020・2021に引き続き2022年度は国際ワークキャンプの開催は見送り、中長期プログラムは個人型ボランティアの募集のみを行いました。国内から3名の方がボランティアとして参加し、計182日間えがおの森に滞在して活動しました。また新しい取り組みとして、「黒木Youthワークキャンプ」を開催し、2名の高校生が活躍しました。

昨年に続いて、日帰りボランティアも計26回開催し、延べ69名の方に参加いただきました。棚田での米づくりやラッキョウ仕事、冬には月に1度薪づくりの活動も行いました。

黒木Youthワークキャンプ（8月）

1.日帰りボランティア（4月～3月：26回）
　参加者：延べ69名
2.週末ワークキャンプ（8/20～21 ： 1回）
　参加者：4名
3.黒木Youthワークキャンプ（7/25～8/4 ： 11日間）
　参加者：2名
4.中長期個人型ボランティア　参加者3名　延べ219人日
　・4/24～8/31　（129日間）
　・10/3～11/15　（44日間）
　・10/10～11/24　（46日間）
ボランティア活動日数：計193日、延べ318人日

▶ワークキャンプメンバーの活動ブログ
https://egaonomori.exblog.jp/

5 奥八女芸農プロジェクト

八女茶山おどりプロジェクト

共催　：九州大学大学院芸術工学研究院社会包摂デザイン・イニシアティブ
補助金：八女市市民との協働によるまちづくり提案事業

八女茶山おどり推進会議　計4回
　体験会3回　約100名参加
　発表会1回　32名参加
※関連イベントを含めると約500人が八女茶山おどりを踊りました。

2015年度から8年目の事業。九州大学社会包摂デザイン・イニシアティブと連携して八女茶山おどりプロジェクト、半農半アート研究会に取り組みました。

2023年に八女茶発祥600年を迎えるにあたり、その機運を高めるべく市内各所でのお祭りに参加したり、黒木小学校への出前ワークショップを実施するなどしました。なかでも最大のニュースは、5/29におりなす八女で実施された「NHK民謡魂ふるさとの唄」公開収録（6/19、7/3放送）に参加し、全国に「八女茶山おどり」を紹介することができたことです。茶山のご縁が全国・世界へ広がることを期待します！

NHK民謡魂ふるさとの唄の収録に参加（5月）

※NHK 民謡魂ふるさとの唄「福岡県八女市」
　初回放送日: 2022年7月3日 https://www.nhk.jp/p/minyo-damashii/ts/E521RLNL97/episode/te/N373Y2N992/
　「番組では開催地八女市の名産である八女茶を、唄と踊りで盛り上げる最新ムーブメントに注目。」と紹介されました。
※令和４年度市民との協働によるまちづくり提案事業（補助額250,000 円、2022/4/11～2023/3/31）
　実施事業名：八女茶山おどりプロジェクト

6 笠原棚田米プロジェクト

美しい棚田を次世代に引き継ぐことを目指して取り組む笠原棚田米プロジェクトは10年目を迎えました。

ホームページの改修を実施し、必要な情報にアクセスしやすくなりました。また、2名のＩＴ専門家にプロボノとして支援頂き、発送の仕組みをチェックしてもらいました。サポーターさんが今の倍の人数になっても対応可能なシステムですと太鼓判をいただきました。

サポーター数：76名（個人73、企業3）
参加農家：8軒
取扱俵数：106.5俵（2021年度より2.55俵増）
守られている棚田面積：17,750㎡　（2021年度より425㎡増）
（106.5俵→177.5ａ 収穫6俵／10ａとして）
※企業・団体として、新日本製薬株式会社、うなぎの大東、羊の和。
　社会福祉法人たからばこ

2022年度特記事項

TIS×日本NPO センター・TechSoup 協働事業 デジタル基盤強化プログラム支援

「TIS ×日本NPO センター・TechSoup 協働事業 デジタル基盤強化プログラム」の支援を受けて、2名のIT専門家にプロボノとして伴走いただき、ファイル共有や顧客管理、ホームページ・メールの設定などのデジタル環境の課題解決に取り組みました。

世の中に便利な情報やツールが沢山ありますが、自分達だけではどれが良いか判断が難しく、手を付けられずにいた課題について一歩二歩前進することができました。プロボノのIさん、Kさんお二方には事務局の一員のように一緒になって親身に考えていただき、新たな仲間を得たような心強さがありました。どうもありがとうございました。

（参考）TIS×日本NPOセンター・TechSoup協働事業助成プログラム＆デジタル基盤強化プログラム
https://www.jnpoc.ne.jp/?p=25972

ご寄附について

99名の方々から**計3,363,997円**のご寄附を頂戴しました。
山村塾の取り組みを応援いただき、誠にありがとうございました。

森林や棚田を守る取り組みに活用させて頂いています

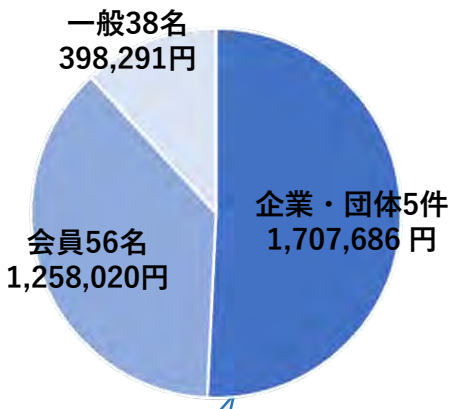
寄附金内訳

一般寄付金1,758,731円、ヤマヤマ基金1,605,266円

【ヤマヤマ基金とは】
任意団体として活動していた2003年に、スタッフ賃金確保を目指してスタートしました。これを機に団体としてスタッフ人件費を予算化し、現在の事務局の雇用につながっています。山村塾の活動は皆様からのご支援に支えられています。ご協力のほどよろしくお願い致します。

※グラフ中の会員とは、NPO会員・活動コース会員・笠原棚田米サポーターです。
※賛助会費は受取会費に計上し、この金額には含まれていません。
※認定NPOの要件となるPST判定の寄付者数は**143名**（賛助会員を含む3,000円以上の寄付者）でした。

寄附金内訳（寄附者属性）



▶企業・団体からのご寄附について

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、ＫＤＤＩ株式会社九州総支社、古本募金きしゃぽん、特定非営利活動法人森づくりフォーラム、特定非営利活動法人ふるさと黒木応援会　※詳しくはホームページにて報告しています。
https://sansonjuku.com/news/archives/category/news

会計報告

2022年度 財務諸表

活動計算書（2022年4月1日～2023年3月31日）

科目			金額(円)	
経常収益	受取会費		448,000	
	受取寄附金		3,363,997	
	受取助成金・補助金		1,123,534	
	事業収益	自主事業収益	11,837,072	
		受託事業収益	14,250,066	
	その他収益		38,036	
	経常収益計		31,060,705	
経常費用	事業費	人件費	7,174,510	
		商品仕入高	5,422,369	笠原棚田米仕入れ代金等
		諸謝金	2,943,500	研修事業講師謝金等
		業務委託費	2,687,428	活動コース農産物、食事代等
		食材料費	884,629	合宿ボランティア食事材料代等
		消耗品費	1,713,104	笠原棚田米資材、研修事業資材等
		その他経費	6,395,010	保険料、えがおの森賃借料、宅急便代等
	管理費	人件費	1,363,089	
		その他経費	1,149,568	
	経常費用計		29,733,207	
経常外収益			42,139	
経常外費用			11,745	
法人税			71,000	
	当期正味財産増減額		1,286,892	
	前期正味財産増減額		-715,346	
	次期繰越正味財産増減額		571,546	

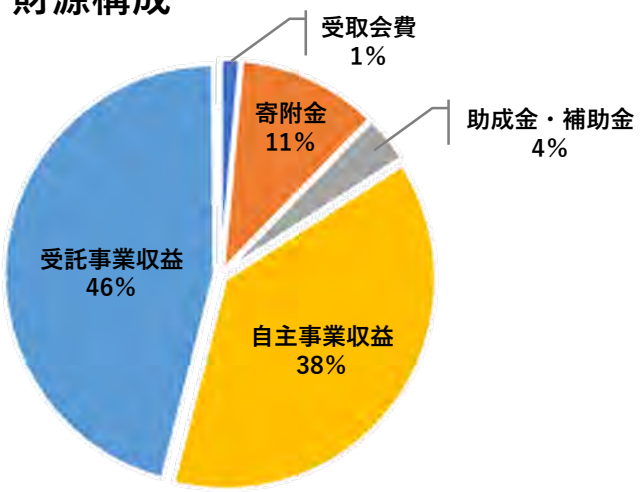
▶自主事業収益 内訳

- 活動コース年会費収益 17%
- 棚田米サポーター会費収益 45%
- 参加費収益 9%
- 農産物販売収益 15%
- 利用料収益 6%
- その他 8%

貸借対照表（2023年3月31日現在）

資産の部			負債の部		
科目		金額(円)	科目		金額(円)
流動資産	現金	299,739	流動負債	未払金等	8,321,113
	預金	7,426,542		流動負債計	8,321,113
	棚卸資産	2,364,200	固定負債	長期借入金	3,480,500
	未収入金等	1,483,307		固定負債計	3,480,500
	流動資産計	11,573,788		負債の部 計	11,801,613
固定資産	建物	761,911	正味財産の部		
	車両運搬具	1	正味財産	前期繰越正味財産	-715,346
	機械装置	37,459		当期正味財産増減額	1,286,892
	固定資産計	799,371		正味財産の部 計	571,546
資産の部 合計		12,373,159	負債・正味財産の部 合計		12,373,159

財源構成



2022年度総括

前年度赤字の影響を受け、実施できなかった取り組みもありましたが、イベントの定員数の拡大に取り組み、新規会員が増えるなどコロナ禍から好転のきざしも見受けられました。

また、新規の寄付者が増加したほか、古いつながりのある方などから大口の寄付もあり、山村塾の取り組みを評価いただいている方が増えてきたよう感じます。

ご支援のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄附で支えられています。
山村の暮らしに学び、山村の環境を守る取り組みに
ご協力をお願いします。

山村塾は、運営組織や経理が適正で、事業活動に公益性が保たれていることが認められ、
2020年3月19日付で、福岡県より「認定NPO法人」として認定されました。
認定NPO法人制度は、NPO法人への寄附を促すために国が設けた税制優遇制度です。
山村塾へのご寄附は、確定申告することで寄附金控除の対象となります。

<参考>内閣府NPOホームページ（認定制度について）
https://www.npo-homepage.go.jp/about/npo-kisochishiki/ninteiseido

▶**ご寄付の方法**：払込取扱票をご利用、または下記口座へお振込みでご寄附をお願いします。

郵便振込口座から	【加入者名】特定非営利活動法人山村塾 【口座番号】01790-3-169398
銀行から	【金融機関】ゆうちょ銀行　【店名】一七九（店番 179） 【口座番号】当座0169398

※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレスを事務局までお知らせください。

こめづくり もりづくり ひとづくり
山村塾

山村塾は1994年に2軒の農林家と会員有志によって、棚田と山林を守る取り組みをスタートしました。都市と農山村の住民が一緒になり、環境にやさしい米づくりや豊かな生態系の森づくりを通じて、山村の環境を守る活動と、その活動を支える交流や人づくりを行っています。

認定NPO法人山村塾
〒834-1222福岡県八女市黒木町笠原9836-1
TEL・FAX：0943-42-4300　E-mail：info@sansonjuku.com
https://sansonjuku.com
@sansonjuku
@sansonjuku_official
山村塾 YouTube　検索
山村塾
ホームページ